

第15回ハートインみやぎ予定表

開場	12:00~
障害者プロレス	13:00~13:30
開会挨拶	13:30~13:45
講演会	13:45~15:00
休憩	15:00~15:15
シンポジウム	15:15~17:00
終了	17:00

NPO法人ハートインみやぎとは

ハートインみやぎは精神医療ユーザーや家族・精神医療・福祉関係者らによって設立された民間有志の活動団体です(2006.12.8NPO法人化)。

精神疾患を持つ方々にとって、より生活しやすい地域社会の実現を目指し、地域社会に対する啓発、並びに地域精神保健福祉・医療の拡充を目指したさまざまな活動を展開しています。

詳しい活内容についてはホームページをご覧ください。QRコードからメールマガジンの登録もできます。

NPO法人ハートインみやぎホームページ

<http://www.heart-in.org/>



ハートインみやぎの歴史

第1回ハートインみやぎ(平成6年12月9日)
第2回(平成7年12月15・16日両日開催)
第3回(平成8年12月10日)
第4回(平成9年10月 3日)
第5回(平成10年11月2日)
第6回(平成11年11月24日) ゲスト 香山リカさん(精神科医)
第7回(平成12年 9月27日)
ゲスト 前田ケイさん(ルーテル学院大学 名誉教授)
シンポジウム「街で暮らす～言いたい放題～」
第8回(平成13年10月12日)
ゲスト 斎藤環さん(「社会的ひきこもり」著(PHP新書)精神科医)
シンポジウム「保安処分を考える～池田小学校事件から126日～」
第9回(平成14年10月19日)
ゲスト 広田和子さん(精神医療ユーザー&サバイバー)
シンポジウム「精神科救急を考える」
第10回(平成15年10月18・25日両日開催)
第11回(平成17年1月15日)
第12回(平成18年10月8日)
ゲスト 立岩真也さん(立命館大学 大学院教授)ほか
シンポジウム「障害者福祉の明日はどちら？ 自立支援法ってどおよ？」
第13回(平成19年1月13日)
公開フォーラム「障害者自立支援法言いたい放題！」
第14回(平成20年1月20日)
シンポジウム
「生きづらさって自己責任?! ～メンタルヘルスと格差社会～」
予定
第15回(平成20年10月25日)
ゲスト 雨宮処凛さん(作家)ほか テーマ 「貧困」とメンタルヘルス

NPO法人 ハートインみやぎ

〒981-0913

仙台市青葉区昭和町2-25 HCビル1階

CAFE225内「NPO法人ハートインみやぎ事務局」

TEL 022(274)2622

第15回ハートインみやぎ

「貧困」と メンタルヘルス

会場 せんだいメディアテーク

開催日 '08. 10/25

開場 12:00

開催時間 13:00-17:00



特別ゲスト雨宮処凛さん

入場無料



NPO法人ハートインみやぎ

www.heart-in.org/

第15回ハートインみやぎ 開催にあたって

平成5年12月、「障害者基本法」が成立され精神に障がいを持つ人たちが、はじめて他の障がいを持つ人達と共にこの法律の対象となりました。そして社会と文化、経済、その他あらゆる分野の活動に参加する「法的市民権」を獲得することが出来ました。

しかし、法的に改正されたとはいえ、精神に障がいを持つ人達を取り巻く偏見や誤解の壁は今なお厚く、社会全体における理解も著しく遅れているのが現状です。就労を含むさまざまな社会参加の機会を一層広めるためには、精神に障がいを持つ人達を支援する法的な整備と共に、市民レベルでの意識の変革が必要であると私たちは考えています。

様々な交流や、ごく自然なふれあいを通じて、精神の障がいをより市民の方々に理解してもらえるように、私たちは平成6年「94ハートインみやぎ」を開催いたしました。その後、過去14度の開催で「社会的ひきこもり」「子供のメンタルヘルス」「障害者自立支援法」「精神科救急」など、誰にとっても身近なものから障がいを持つ人達にとって深刻なものまで、幅広いテーマを取り上げてきました。近年ではこのイベントに対する反響も広がり、他県からの参加者もみられるようになってきています。

障がいの有無にかかわらず、誰もが一市民として楽しみ、交流し、知識を得る事の出来る場、それがこのイベントの役割であると私たちは考えています。私たちは今年も「第15回ハートインみやぎ」を開催します。

このイベントに関わる全ての人たちが精神の障がいへ目を向け、同じ街で暮らす市民として互いに理解し合う糸口が生まれることを願っています。この趣旨に多くの方々からのご賛同を頂ければ幸いです。



今年のテーマは「貧困」とメンタルヘルス

オープニングは障害者プロレス

公演は障害者プロレス団体「ODAZUNA」(おだづな)の皆さんです。

「障害者だって好きなことをやりたい、それがプロレスで何が悪い！」障害者と健常者がタッグを組んで結成した仙台で活躍中のプロレス団体。

及川健二郎選手の真剣勝負、マスク・ド・ウツの仮面の下に隠された闘志に期待！

今年の講演会是对談形式

雨宮処凜さん(作家)

×

七瀬タロウさん(精神医療ユーザー・社会学)

ワーキングプアやニートなど現代テーマを精力的に取り上げ続け、いまや「プレカリアートのマリア」とも称される作家・雨宮処凜さん。自身もいじめやリストカット、自殺未遂などの壮絶ともいえる経験とともに、人形作家や右翼、バンドボーカルなど幅広い活動経歴をもつ。学校や職場、コミュニティの構造とさまざまな「生きづらさ」、メンタルヘルスの関係について。七瀬タロウさんとともに大いに語っていただきます。

激論必至のシンポジウム

コーディネーター 原敬造さん(原クリニック院長)

シンポジスト

雨宮処凜さん(作家)

新沼鉄也さん(NPO法人ワンファミリー仙台 事務長)

伊藤竹海さん(イトーキカク ハートインみやぎ理事)

山本 潔さん(ハートインみやぎ理事)

フリーターやワーキングプア、ホームレス、メンタルヘルス…。今回のシンポジストが日ごろ取り組むテーマは、異なるようでいて、実はとても親密な関係にある。そう、新自由主義やグローバル経済などの社会構造による影響をモロに受け、プレカリアート(不安定なプロレタリアート)な立場を強いられる点で共通している。私たちは強いられた「生きづらさ」をどうとらえ、跳ね除けるべきか？激論必至の120分！

雨宮処凜さんについて

雨宮さんは「作家」です。「生きさせる！ 難民化する若者たち」「プレカリアートーデジタル日雇い世代の不安な生き方」は、若者たちの過酷な現実を、若者に、そして社会に問いかけるものでした。

「雨宮処凜の闘争ダイアリー」は(連帯)して(闘争)する雨宮さんの活動の記録です。

今、雨宮さんの問いかけと活動は、社会を大きく動かそうとしているのだと感じずにはられません。